

(1)「福祉」とは何か

- ・「福」も「祉」も幸せ（仕合せ）という意味
- ・政策や学界においては、福祉は **welfare** の訳語として用いられている。
wel : 「良い」 fare : 「暮らし」という意味 → 「良い生活」を意味する。

(2)「福祉」と「社会福祉」

- ・幸せの形・在り方は個人によって異なる。そのため「幸せ」そのものは、個人（各家庭）で
追及していく必要がある。
- ・そのためには、自己責任に基づいて私生活を管理できる「強い個人」である必要がある。
- ・しかし、現実には「強い個人」ではいられない場面（生活問題）は多々存在する。
(疾病／障害／高齢／貧困／社会的差別 etc...)

↓

「強い個人」という前提には限界があるため、生活を支えるための社会的な仕組みが必要

(3)「社会福祉」とは何か

- ・社会生活上の「生活問題」に対して、個別に行われる援助活動のこと
 - * 「心」の問題（内面の問題）⇒ 心理学（臨床心理学）、宗教学、哲学などが専門
 - * 「画一的」な援助の仕組み ⇒ 社会保障
- ・社会福祉の援助活動は、社会資源（社会生活を送るうえで必要に応じて活用できるさまざまな制度やサービス、機関、施設、人材などの総称）の活用を通じて行われる。
- ・幸せを追求するための活動や仕組み（制度）などを幅広く指し示す用語として使われる場合もある。
(≒広義の社会福祉／目的概念としての社会福祉)
- ・社会保障制度の内、個別な福祉サービスのことを「社会福祉」と呼ぶ場合もある。
(≒狭義の社会福祉／実体概念としての社会福祉)

(4)社会福祉の特徴（古川 編,2007）

第1の特徴：社会的にバルネラブルな状態にある人々の生活支援ニーズをもつ多様性、複雑性、高度性に対して個別的（パーソナル）に対応する施策であるということ

第2の特徴：社会福祉には、それを利用する人々のもつ多様な非対称性、低位性、脆弱性などに起因する生活支援ニーズに対応するために、一般生活支援施策の動員を含め、生活の全体性統合性を視野に入れ、包括的総合的な対応が要請されるということ

《参考・引用文献》

- ・岩田正美,上野谷加代子,藤村正之,『ウェルビーイング・タウン 社会福祉入門 [改訂版]』有斐閣,2013
- ・加藤博史 編著,『福祉とは何だろう What is Well-being?』,ミネルヴァ書房,2011
- ・古川孝順 編,『生活支援の社会福祉学』,有斐閣,2007